創作活動アクティビティ

- 1 ウッドクラフト
- 2 ウッドレジン
- 3 表札づくり
- 4 写真立てづくり
- 5 マイはしづくり
- 6 えだエンピツ
- 7 ワックスボールづくり
- 8 七宝焼き
- 9 草木染め
- 9-2 草木染マスク
- 10 うどんづくり
- 11 ピザづくり

ウッドクラフト

対 象 幼児以上

ねらい 作品をつくりだす喜び 自然との関わりへの関心

時間

60分

準備物

[団体] 新聞紙 水性ペン(ポスカ小、プロッキー小等) 活動により必要な物 [購入するもの] 輪切り材 クリアースプレー 紙やすり [ネイパル] ドリル カッターなど

時間	活動内容	留意点
	●輪切り材を活用したプログラム。4種類ある。 ①バッグタグ作り ②キーホルダー作り ③ネームプレート作り ④コースター作り	・施設にある道具
	●事前準備・机上に新聞紙を敷く・材料の配付・紙ヤスリの裁断	カッター、小刀カッターマット
5分	●作り方と趣旨の説明・作品をつくりだす喜びを味わう・豊かな発想や創造力を引き出す・作品のよさや面白さを感じ取る	• 安全指導
10分	●素材みがき ・①と②は素材にドリルで穴を開ける	・塗装場所の用意(テーブルに新聞紙を敷き、竹ひごを並べる)・電動ドリル使用・けがに注意
25分	●イラスト・文字を描く ・素材に水性ペンや筆ペンで文字や絵を描くイラスト、言葉、名前、日付など描き終わったら、塗装場所に並べる	・黄色は塗装後、見えなく なるので注意
15分	 ●塗装 ・クリアースプレーをかける(①と②は両面) ・塗料が乾燥したら次の事を行う。 ①バッグタグ作り→穴にひもを通し、結ぶ ②キーホルダー作り→穴にチェーンを通して、金具を留める ③ネームプレート作り→両用ピンを貼り付ける ~ できあがり ~ 	・2回重ねがけをすると 光沢がでる・換気に注意
5分	●後片付け ボッグタグ キーホルダー ネームプレート 34	コースター

ウッドレジン

対象

小学校4年生以上

ねらい

作品をつくりだす喜び(創意工夫、達成感) 感性の違いの認め合い(鑑賞)

時 間

60~90分程度

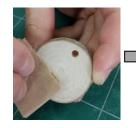
準備物

[団体] 新聞紙 水性ペン(ポスカ小、プロッキー小等) 活動により必要な物 [購入するもの] ウッドレジンセット(レジン、輪切り材3cm程度、紙やすり、紐等) [ネイパル] 卓上ボール盤、UVライト

展開

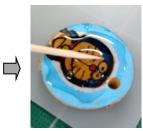
時間	活動内容	留意点	
	●事前準備	・穴あけは引率者で行う。	
	• 新聞紙を敷く		
	・輪切り材に穴をあける。(やすりがけと同時進行も可能)		
	●ウッドレジンの作り方と趣旨の説明	・引率者は穴あけ担当、やすりがけデザイン担当、レ	
10	・豊かな発想や想像力を引き出しながら、作品をつくりだす喜び	ジン担当に分担しておく	
分	を味わう。互いの作品のよさや面白さを感じ取る。	と、子どもの進行業況に合 わせた対応が可能になる。	
	●用具の使い方の説明	15 676737676 513816-00 60	
	・やすりがけの方法、レジンの塗り方、UV ライトの照射方法		
40	●形成(磨く、デザイン、色付け、レジン)	・台紙の上に輪切り材を置	
40	①輪切り材を紙やすりで両面とも磨く。(穴をあけてもらう)	き1円玉程度レジンを垂ら	
~	②水性マジックでデザイン、色付けをする。(鉛筆で下書き可)	す。「つまようじ」で平らに	
60	③レジンを片面に凹凸がないように 1~1.5 mm程度塗る。	ならしながら気泡をつぶ	
分	④UV ライトを 4 分照射しレジンを固める。	し、UV ライトをあてる。	
	⑤穴に紐を通し縛る。	・UV ライトは直視しない。	
	片付け・清掃、振り返り		
10	(1) 片付け・清掃		
~	①机上のゴミをゴミ箱に捨てる。新聞紙を折りたたみ一力所に集める。		
20	②床をほうきやモップで掃除し、長机を床の印に合わせ並べる。		
分	(2)振り返り		
	①お互いの作品を鑑賞し、いいなと思った点を教えてあげる。		

●作成手順















35



表札づくり

対 象 小学生以上

ねらい 作品をつくりだす喜び 自然との関わりへの関心

時 間 90分

準備物 [団体] 新聞紙 接着剤(木工用ボンド及びグルースティック) 水性ペン [購入するもの] 表札用板(角形) [ネイパル] グルーガンなど

時間	活動内容	留意点
	●事前準備	・施設にある道具
	• 机上にカッターマットおよび新聞紙を敷く	カッター、園芸用はさみ
	材料の配付	カッターマット
		グルーガン
10分	●表札の作り方と趣旨の説明	
	・作品をつくりだす喜びを味わう	
	・豊かな発想や創造力を引き出す	
	• 作品のよさや面白さを感じ取る	
20分	●材料集め(省略可)	
	・施設周辺の森から、装飾に使う木の実や小枝を集める	• 毒草や毒虫に注意
40分	●作品づくり	
	・デザインを考えながら、小枝や木の実などを板の上に並べる	机上にカッターマットと
	はさみで切るなど、並べながら大きさを調整する	新聞紙を敷く
	デザインが決まったら、木工用ボンドやグルーガンで板に	• やけどに注意
	接着する	(グルーガン使用時)
	ボンドの乾燥時間がとれない場合、グルーガンのみを使用	
15分	●壁かけ用金具のとりつけ	
	・金具を取り付ける位置にキリで穴を開け、金具をねじ込む	
	・金具にひもをとおし、バランスの良い長さで結ぶ	
	\sim できあがり \sim	
5分	●後片付け	
	尚米十	
	"上" 菲 山	

創作活動 4 教科等との関連: 図工

写真立てづくり

対 象

小学生以上

ねらい

作品をつくりだす喜び 自然との関わりへの関心

時間

90分

準備物

[団体] 接着剤(木工用ボンド及びグルースティック) 新聞紙 水性ペン 材料(木・枝・木の実・葉など)

[購入するもの] 写真立てキット [ネイパル] グルーガンなど

時間	活動内容	留意点
	●事前準備	・施設にある道具
	• 机上に新聞紙を敷く	園芸用はさみ
	• 材料の配付	グルーガン
5分	●写真立ての作り方と趣旨の説明	
	• 作品をつくりだす喜びを味わう	
	・豊かな発想や創造力を引き出す	
	・作品のよさや面白さを感じ取る	
20分	●材料集め(省略可)	
	・施設周辺の森から、装飾に使う木の実や小枝を集める	• 毒草や毒虫に注意
10分	●スタンドの組み立て	
	• 小枝を組み合わせて写真立てのスタンドを組み立てる	
	交差部分を輪ゴムでとめ、目隠しの麻ひもをまく	
35分	●飾り付け(省略可)	
	• 写真を貼る板やスタンドを、集めてきた木の実や小枝などで	• やけどに注意
	飾る	(グルーガン使用時)
	木工用ボンドやグルーガンで接着する	
10分	●飾りピンの作成	
	・木工用ボンドで、画鋲に目隠し用木片を貼り付ける	
	~ できあがり ~	
10分	●後片付け	

マイはしづくり

対象 小学3年生以上

ねらい 作品をつくりだす喜び 自然との関わりへの関心 環境保全

時 間 150分

準備物 [団体] 新聞紙など

[購入するもの] マイはしキット 紙やすり

[ネイパル] カッターなど

開

時間		活動内容	留意点
	●事前準備		・施設にある道具
	机上にカッターマット	および新聞紙を敷く	小刀 カッター
	• 紙ヤスリの裁断		カッターマット
	・材料の配付		みつろう
			キッチンペーパー
10分	●マイはしの作り方と趣旨	の説明	
	• 作品をつくりだす喜び	を味わう	
	・豊かな発想や創造力を	引き出す	
	・作品のよさや面白さを	感じ取る	
	・木材資源の保全など、	環境について考える	
90分	●削りだし		
	・小刀やカッターで、素材	を箸の形に削り出す	・机上にカッターマット
	①角を丸く削る (2先の形をととのえる	または新聞紙を敷く
	※模様を刻み込んだりすると、さらに個性的な作品になる		ケガに注意
20分	●みがき		
	紙ヤスリで、素材の表面がなめらかになるまでみがく		ヤスリでみがいた後は、
			刃物ではけずらない
20分	●塗装		
	コーティング材(みつろ	う、オリーブ油など)を紙に含ませ	
	素材にこすりつける		
	素材の色が変わらなくなるまで、こすりつける		
	~できあがり~		
10分	●後片付け		

※団体の人数によっては、3時間とっていただいたほうがよい場合があります。

えだエンピツ

対象 小学校4年生以上

ねらい

作品をつくりだす喜び(創意工夫、達成感) 自然との関わりへの関心(自然愛護)

時 間

60分~90分

準備物

[団体] 新聞紙 水性ペン(マッキー、プロッキー等) 活動により必要な物 [購入するもの] えだエンピツ

[ネイパル] カッター、小型のこぎり、園芸用はさみ

展開

時間	活動内容	留意点
	●事前準備	・カッターは事前に机上に
	・新聞紙を敷く ・材料の配付	準備しておく。
10分	 ●えだエンピツの作り方と趣旨の説明 ・豊かな発想や想像力を引き出しながら、作品をつくりだす喜びを味わう。互いの作品のよさや面白さを感じ取る。 ●用具の使い方の説明 ・カッターの刃の長さは1か2めもり。刃の前に指をおかない。 ・のこぎりは刃を全て出し、力を加えず、重みで引く。 	・安全対策として、カッタ ーの使い方を実演する。また、けがをするパターンも 例示する。 ・カッターを使っている人 のそばには近寄らないこと を互いに確認する。
	●形成(削る、切断する)	・着色を希望しない場合は、
40~	①不必要な枝をのこぎりで切る。	皮を少し削りイニシャルや
60分	②先端から2㎝程度を「えんぴつ」のように削る。	記号などを書いても良い。
	③必要に応じて、持ち手部分を削り、マッキーなどで着色する。	
10~ 20分	片付け・清掃、振り返り (1) 片付け・清掃 (1) 片付け・清掃 (1) 片付け・清掃 (1) 小川のゴミをゴミ箱に捨てる。新聞紙を折りたたみ一カ所に集める。カッター、のこぎり等の借用物は指定の場所に戻す。 (2) 床をほうきやモップで掃除し、長机を床の印に合わせ並べる。 (2) 振り返り (1) お互いの作品を鑑賞し、いいなと思った点を教えてあげる。 (2) 工夫した点や上手くいった点などを発表し交流する。	

●作成手順













ワックスボールづくり

対 象 幼児以上

定 員 30名

ねらい

作品をつくりだす喜び 環境保全への意識

間

60分

準備物

[団体] 汚れてもよい服装

[購入するもの] ワックスボールキット

[ネイパル] ガスコンロ 鍋 バケツ 新聞紙など

時間	活動内容	留意点
(30分)	●事前準備	・施設にある道具
	汚れてもよい服装をする	ガスコンロ、なべ、風船
	大量のロウを入れたなべを火にかけて溶かす	たらい、カッター、布
		彫刻刀、竹串、バケツ
5分	●ワックスボールの作り方と趣旨の説明	
	• 作品をつくりだす喜びを味わう	
	• 豊かな発想や創造力を引き出す	
	• 作品のよさや面白さを感じ取る	
	・省エネルギーなど、環境保全について考える	
10分	●水風船づくり	
	• 洗面所で風船に水を入れ、リンゴ大くらいにふくらませる	・できるだけ、空気を入れ
		ないようにする
15分	●ボールづくり	
	風船をしずかに肩口くらいまでなべのロウにつけ取り出す	• 落ち着いてゆっくりと作
	• ロウが5mm 位の厚さになるまでロウにつけ、取り出すのを	業する
	くりかえす	
5分	●ロウを固める	
	水をはったたらいに風船を入れ、ロウが固まるまで冷やす	
	・水の中で風船を割り、ロウを取り出す	
15分	●形をととのえる(省略可)	
	・カッターや彫刻刀で、形をととのえ、模様などを彫り込む	
	~ できあがり ~	
10分	●後片付け	

創作活動8 教科等との関連:図工

対象 小学4年生以上

定 員 30名

ねらい

作品をつくりだす喜び

時 間 60分

準備物

[団体] 新聞紙

[購入するもの] 七宝焼キーホルダーキット [ネイパル] 七宝電気炉 制作用具(絵の具等)

時間	活動内容	留意点
(50分)	●事前準備	・施設にある道具
	• 七宝電気炉を作動させ加熱を始める	七宝焼き制作用具一式
		七宝電気炉
10分	●七宝焼きの作り方と趣旨を説明	
	・材料と用具の配付	
	作品をつくりだす喜びを味わう	
	• 豊かな発想や創造力を引き出す	
	• 作品のよさや面白さを感じ取る	
10分	●七宝絵の具の準備	
	・ 絵の具の入った容器に水を入れ、絵の具を洗う	
10分	●七宝素材(銅板)の下地づくり	
	• 銅板の表面を紙ヤスリでみがく	
20分	●絵の具の盛りつけ	絵の具がはみださないよ
	• 磨いた銅板の表面に下絵を書き、絵の具を盛りつける	うに気をつける
30分	●作品を焼く	
	・七宝電気炉に作品を入れて焼く(1つ2分30秒程度)	• やけどに注意
	• 作品を取り出した後は、さわれる温度まで自然冷却する	
10分	●キーホルダーのとりつけ	
	・キーホルダー金具に、作品を接着剤ではりつける	・金具にはまらない時は、
	~ できあがり ~	金ヤスリで作品のまわり
		をけずる
20分	●後片付け	

対 象 小学生以上

定 員 30名

ねらい

作品をつくりだす喜び 快適な衣服とすまい 自然との関わり

時間

180分

準備物

[団体] 草花 染色する白い木綿の布 カセットコンロ用ガス 豆乳又は牛乳 媒染剤 ゴム手袋 新聞紙

[ネイパル] カセットコンロ 草木染め用具一式

時間	活動内容	留意点
(10分)	●事前準備	・施設にある道具
	・汚れてもよい服装をし、調理用手袋を装着する	草木染め用具一式
10分		
	• 作品をつくりだす喜びを味わう	
	• 豊かな発想や創造力を引き出す	
	• 作品のよさや面白さを感じ取る	
20分	●植物の採取	
	・施設周辺の森で植物を採取する(持参も可)	・毒草や毒虫に注意する
20分	●布の精錬	
	・布の不純物をとりのぞく	
60分	●染色液の抽出	• 媒染剤(色素の定着を高
	・植物を湯せんし、染色液をとる(1時間以上)	める薬品)
	・染色液に媒染剤(薬品)をいれる	・薬品の取り扱いに十分注
		意する
40分	●染色	
	・染色液に布を入れ煮染めする(30分以上)	
20分	●水洗い・乾燥	
	・染色した布を水洗いする	• 完全乾燥まで数時間必要
	風通しの良い日陰に干す	
10分	●後片付け	

草木染めマスク

対 象

小学生以上

定員

30名

ねらい 時 間 作品をつくりだす喜び 生活を豊かにするための布を用いた制作 水溶液の性質 180分

準備物

[団体] ゴム手袋 新聞紙 豆乳又は牛乳(なくても良いがあれば色が濃く出る) [ネイパル] カセットコンロセット 草木染め用具一式 媒染剤 マスク材料一式

時間	活動原	内容	留意点
	事前準備		・実施 30 分前に担当者は研修
	ネイパル職員とともに、会場準備を	を行う。長机、コンロ、バケツな	室に集合。
	ど必要物品を整え、湯通しができる	る状態まで整える。	
20分	●全体の流れを説明		•アイロンがけは3つ折で1回、
	①染色液づくり:植物の選択→軽量	量→煮出し	左右の折り目で1回ずつ行う。
	②マスクづくり:布にアイロンで打	折り目をつける→ゴムを入れ両サ	・別紙解説プリントを用いて説
	イドを縫う(並ん	逢い、半返し縫い)	明する。プリントは人数分用意
	③湯通し(マスクをお湯にさっと)	通す)	しておく。(団体で持参)
	④染色1回目(弱火で15分程度素	煮染めする)	
	⑤媒染(媒染液を選び、染色した、	マスクを 15 分程度つける)	
	⑥染色2回目(中火で5~10分類	陰かき混ぜながら染める)	
	⑦水洗い(洗面所の流水で色水がと	出なくなるまで洗う)	
	⑧乾かす(タオルにはさみ水分を	こる)	
	⑨アイロンがけ		
70分	●染色液と媒染液の選択		・媒染液は担当者でつくる
	●媒染液づくり(鍋に材料を入れ、	煮込む)	
	●マスクづくり(媒染液づくりと同じ	司時進行)	・火傷、創傷への配慮。
	①布、針、糸、ゴムを受け取る		・縫い針とまち針の使い方の説
	②布を3つ折りしアイロンで折り	0目をつける。左右は 1.5 m程度	明を行う。
	折り目をつける。		・縫い終わった人から、随時染
	③マスクにゴムを通し、左右各1	カ所を縫う(並縫 or 半返し縫い)	色を始める。
80分	 ●染色		熱湯やコンロでの火傷に
	①染色液につける(1 回目)	②媒染液につける	配慮する。
	③染色液につける(2回目)	④流水で洗う	・染色液が衣服に付くとと
	⑤乾かす	⑥アイロンがけ	れないので注意する。
			・流水で洗う場所は 1F 洗面所。
10分	●後片付け		

教科等との関連:家庭 創作活動 9

うどんづくり(冬季11月~3月)

対 象 小学生以上

ねらい

協調性の育成 日常の食事と調理の基礎

時 間 150分

準備物 [団体] エプロン 三角布 ふきん ポリ袋大(1班に2枚)洗剤 スポンジ ラップ [ネイパル] ボール ふるい めん棒 のし板 麺切 包丁 こま板

時間	活動内容	留意点
	●事前準備	・施設にある道具
	・つめを切り、手をよく洗う	ボール(大)、ふるい
	・エプロンと三角布を用意する	めん棒、のし板、麺切
		包丁、こま板
5分	●うどんの作り方と趣旨の説明	
	• 自分の手で食べ物をつくりだすことの喜びを味わう	
	• 共同作業による協調性を育てる	
	・清潔、安全に気をつけて行動する	
55分	●うどんの生地づくり	
	ボールに粉をふるう	
	・粉に食塩水をいれながら、指で全体に混ぜ合わす	
	・両手で力を入れて、内側にもみこむように練る	
	・生地がまとまったら、ポリ袋に2重にして入れる	・丈夫な袋を用意する
	・ポリ袋に入れた生地を、足でふんでこね、たたんでこねを	
	くりかえす	
60分	 ● ねかし	1時間以上ねかせる
	生地をぬれぶきんで包み、ラップで包んでねかせる	ねかせている間の活動な
		どを考えておく
40分	●めんづくり	・なるべく長方形になるよ
	のし板とめん棒に打ち粉をして、ねかした生地をのばす	うにのばす
	・のばした生地をたたんで、包丁で切る	できるだけ細く切る
	切っためんをのばして、おぼんにならべる	めん同士がくっつかない
	めんを厨房にもっていき、ゆでて調理してもらう	ように粉をまぶす
20分	●後片付け	
	●試食(昼食)	

ピザづくり(夏季5月~10月)

対 象 小学生以上

定員 石窯40名、 簡易かまど120名

ねらい 時間

食に関する体験的な活動 望ましい人間関係 異年齢集団交流 地産地消など 180分~210分(人数で変動する)

準備物

[団体] エプロン、バンダナ、軍手、ピザ食材(購入可能)、アルミホイル(大・数本)、 ラップ (大・数本)、ふきん (各グループ2枚)、テーブルふき (各グループ1枚)、ゴミ袋 (燃えるゴミ大1枚、燃えないゴミ1枚、生ごみ用1枚)、皿(紙皿)、調理用使い捨て手袋 (1人2セット) 、洗剤、スポンジ、まき(石窯、購入可)、炭(簡易かまど、購入可) [ネイパル] のし板、のし棒、ボール、ふるい、フォーク、計量カップ、ピザカッター、ス ケッパー、ハサミ、まな板、包丁、トレー、水切りネット、小どんぶり、皿、金属製のへら、 耐熱手袋(石窯)、ピザパドル(石窯)

展 開			
時間	活動内容		留意点
10分	●趣旨説明		・作り方の資料をグル
	・ピザの調理工程、石窯の特性などの説明		ープに配布
30分	●ピザ生地づくり ・強力粉と薄力粉をふるいにかけ、イースト や砂糖、塩、水などを混ぜ、滑らかになる までこねる ・丸めた生地をボールに入れ、ラップを かぶせて湯煎して、発酵させる(約15分)		発酵時間の間に野菜 やウインナーを準備 したり調理用具を片 付けたりしておく
60分	○ 石窯でピザを焼く場合・ 石窯の下段で薪を燃やし内部を加熱する※ 窯内部のススが燃えて内壁が白くなるまで薪を燃やします。下段の火は、ピザを焼く時に「熾き火(おきび)」になっている事が理想的です	※ 木炭は、各かまどに	語易かまどを組立てる こそれぞれ必要です げを焼き上げる前に木炭が燃え
	●トッピングの用意		
	ウインナーや野菜を薄切りにする		
	●ピザの成型とトッピング・2倍位にふくれた生地を、ガス抜きして・ピザソース、具、チーズの順に生地に乗った。		丸く平らに伸ばす
30分	◎ 石窯でピザを焼く場合	◎ 簡易かまどでピ	ザを焼く場合
~	・上段にピザを入れたら、入り口をレンガで	かまどと木炭を配	
60分	ふさぐ(一つのかまどには3~4枚入る) ・焼きムラにならないよう、必要に応じて位置を変える ※ 窯内部の温度にもよりますが、 焼き上げまで5分~10分程度かかります。 また、後になるほど焼き上げに時間がかかります。	加したり、除けたりす	く加減を調整する(炭を追する) てのピザと入れ替える すが、
50分			
	・片付けを分担し、元の場所へ道具を戻す		